

高槻局

料金後納
郵便

令和8年度 高槻市

大腸がん 検診の お知らせ

テレビ番組のご案内

がん検診受診率向上<希望の虹プロジェクト> 希望の虹プロジェクト
静岡社会健康医学大学院大学 満田友里准教授が制作に協力!

NHK あしたが変わるトリセツショー「がん対策のトリセツ2026」

2026年9月3日(木) [昼] 19:30~放送予定

高槻市も参加しています

「自宅で簡単にできる」

大腸がん検診は 便の検査です*。

「大腸がん検査って、お尻からカメラ入れるやつでしょ」と誤解してる方多いんです。最初の大腸がん検診は自宅で便を2日間採取して医療機関に提出するだけ。それで異常が見つかった場合のみ、医療機関で内視鏡の検査をするんですよ。



検査キット



容器のフタについた
棒で便の表面を採取

注) 痔のある方も、最近3ヶ月以内に出血や痛みがなければ、検査を受けていただけます。ただし、治療中、経過観察中の方は受けることができません。

※ 検診では、がんでないのに「要精密検査」と判定される場合や、がんがあるのに見つけれない場合もあります。

このはがきは、がん検診受診率向上<希望の虹プロジェクト>が作成しました。

大腸がん検診の流れ

自己負担: 0円

1. ①もしくは②を選択

①個別検診

実施医療機関に電話予約

実施医療機関
一覧ページ



②集団検診

健康づくり推進課へ申込

集団がん検診
ページ



2. 検査容器と問診表を受け取る

(集団検診をご予約された方は
自宅へ郵送)

3. 自宅で便を2日間採取して提出

4. 結果※

①個別検診結果の受取時期は、受診された医療機関へお問い合わせください。

②集団検診結果は、約1ヶ月後に郵送されます。

「要精密検査」という結果が出た場合は、
必ず医療機関で精密検査を受けてください。

精密検査の第一選択は全大腸内視鏡検査です。

※検診は自治体と、各医療機関が連携して行っています。精密検査の結果は関係機関で共有され、市区町村へと報告されます。また、最初に受診した医療機関と異なる医療機関で精密検査を受けた場合は最初に受診した医療機関にも後日、精密検査結果が共有されます。(医療機関の検診精度向上のため)

市民検診で受けた場合 費用約3,000円が無料！※

大腸がん検診(便検査)は、助成がない場合3千円程度かかる検査ですが、市が全額負担するため、自己負担0円で受診できます。

対象者：高槻市在住の40歳以上の方

※がんの治療中・経過観察中の方や症状等のある方は、がん検診の対象外となります。症状があれば、医療機関で診察を受けましょう。

※既に受診された場合は行き違いですので、ご容赦ください。

検査費用	約3,000円
－市の負担	約3,000円
自己負担金	0円

※現金が支給されるわけではありません。

今年度の受診期限は**令和9年3月15日**

例年、受診期限間近になると混み合いますので、お早めの受診をお勧めします。

高槻市 健康づくり推進課
〒569-0052 高槻市城東町5番1号
TEL 072-674-8800 FAX072-674-1551
(平日8時45分から17時15分まで)

専門医に聞きました。 大腸がんについて、大事なポイント

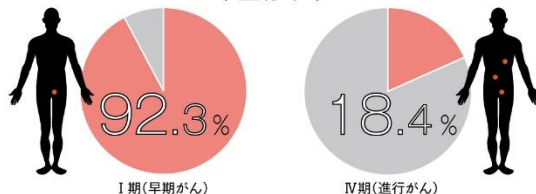
「早く見つけて、早く治す」

早期のがん^{※1}の段階で治療すれば、

90%以上が治ります。^{※2}

大腸がんは、早期で発見すれば、多くの場合負担の少ない内視鏡での手術(入院は2～3日、または必要なし)で治療が可能です。しかし、進行してがんが肺などに遠隔転移した後に発見すると、生存率は大きく下がってしまいます。

〈生存率〉



※1 ここでの「早期」とは、がんの進行度を0～IV期に区分した病期分類(TNM分類)におけるI期を意味します。(IV期に近いほどがんが進行している状態です)

※2 ここでの「治る」とは、診断時から5年後に生存している状態を示します。
出典：2014-2015年院内がん登録5年生存率報告におけるネット・サバイバル(純生存率)

大腸がんは**早期のうちほとんど**

「自覚症状がありません」

みなさん「血便がでたら」とか「異常を感じたら」病院に行こうとおっしゃるんですが、大腸がんは、早期には自覚症状がないんです。「異常を感じたら」では、手遅れになる場合があります。だから検診は毎年定期的に受けてください。もちろん、血便、腹痛、便の性状や回数が変化した、などの症状がある場合は次の検診を待たずに病院に行きましょう。

女性の方へ

大腸がんに罹患する人が増加しており、**女性の部位別がん死亡数第1位**。男性でも肺がんに次いで死亡者数が多いんです。^{※3}
検診を受けることでがんによる死亡リスクが減少します。命を守るため、**大腸がん検診を必ず受けてください。**

※3 出典：人口動態統計(2023年)

